

本日 梅太郎 備(準備)に着付  
11時頃会社を出立  
人には入せ  
(2月 995)  
11/10

(20)  
225

11  
10

全市大の学友諸君！一〇・四の導入、あれから二カ日以上、常駐下にあります授業再開、とどまることを知らぬ大学当局の反動化、臨時体制、今回の大学当局の態度を冷静にみぬくなづはこれがあの大学立法の実体化でなくて何であるか。これが東大闘争以降一つの焦点となつた国大協自主規制路線の反動的再現以外の何であるか、理學部のあるクラス討論には極めて退歩命令に従つて國が導入された、田交要求のデモに対する体制が我々の前に存在する。これが民主的といわれた市大当局による正當化の本質なのである。自主解決の本質なのである。このよろなアソシヨン的彈圧をなぜ大学当局がとらなければならぬのか。『廢校』、大学立法反対を叫んだ彼らが自ら大学立法を実体化しなければならない理由は今日の大半とも言ふ全社会的政策情況と無関係ではない。そもそも現代の大学の本質的機能は（それが全てとはいわなゝが）資本の再譲にみあつた勞働力再生過程の一環であり、その果す役割は國家の教育政策に規定され歴史的変遷を経て來た。そして今、は資本主義の下部構造に大規模な轉換がなされようとして、その反映として全社会的帝国主義的再編、資本の海外進出が目的的に進行していく。国内再編として國銖を始めとする合理化、大学を始め全教育界の反動的再編、四次防と沖縄派兵を中心とする自衛隊の帝國主義軍隊化、資本の海外進出として日韓米、ASEAN、これらを裏でける、沖縄核付返還策動を軸とした安保体制の實質強化があるとすると、我々は学園闘争と安保沖縄闘争は同時不可分のものであることを確認しなければならぬ。大学当局の我々の闘いに対する弾圧は實質的には教育の帝國主義的再編を辞してはねのけ、其の中で安保沖縄闘争を連續的にたたかう必要があるだろう。我々は以上の認識をふまえつつ具体的な行動を繰り返すにおいても行う必要があると考え本日スト実準備委員会を開催する。全ての先進的学友諸君はスト裏準に結集せよ。

一〇・二回交要求全学統一ストに決起せよ、

反動的居直りを続け一切我々の前に立たせない学兵協議会は臨時執行部を設け权力集中を行つていい。我々はこの間の彼らの責任を追及し、改革の第一歩として彼らと論理的に対決する必要があると考え、学長協議会開催を要求する。この要求に一切答へない大学当局に抗議し、二・二全学統一ストライキに連帯することを全ての学友諸君に訴える。

## 二〇一 國交要求全學統一ストに決

反動的居直りを續け 一切我々の前に姿を現さない学  
長協議会は臨時執行部を設け権力集中を行つてゐる。  
我々はこの間の彼らの責任を追求し 改革の第一步として  
般ら論理的に対決する必要があると考へ 留學協議会  
会員交を要求する。この要求に一切答えない大字当局に  
抗議し二、全学統一ストライキに連帶することを全て  
の学友諸君に訴える。

# 卷之二